

平成 3 0 年

第 2 回仙北市議会臨時会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 3 0 年 5 月 8 日

平成30年第2回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇教育委員会制度の改正について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、平成27年4月1日から施行されました。改正の目的は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図ること等とされています。

教育長制度については、経過措置により旧制度を継続していましたが、平成30年第1回仙北市議会定例会で、教育長の任命議案に同意いただき、平成30年4月1日、教育委員長と教育長を一本化した新教育長に任命されました。

今後は、新制度の下、健全な教育行政の運営に努め、直面する課題解決に向けて全力で取り組みます。

なお、4月26日の平成30年第6回仙北市教育委員会定例会において、安部委員を教育長職務代理者に指名したことを報告しております。

◇新年度スタートについて

市内の小・中学校12校は、4月5日に始業し、6日から10日にかけて小・中学校の入学式が予定通り実施されました。小学校7校の児童数が1,104人(前年度1,115人、前年度比11人減)、中学校5校の生徒数が582人(前年度588人、前年度比6人減)、計1,686人(前年度1,703人、前年度比17人減)で新学期がスタートしました。

◇全国学力・学習状況調査の実施について

4月17日、小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が全国一斉に実施されました。教科に関する調査は、

国語及び算数・数学、理科について行われ、その他に、生活環境や学習環境等に関する質問紙による調査も実施されました。この調査は全国の国公私立の全小・中学校の児童・生徒が対象となる調査で、本市でも小学校7校、中学校5校が調査に参加しました。

◇仙北市育英奨学資金の貸与者の決定について

平成30年度「仙北市育英奨学資金」の募集に対して、高校3人、専門学校6人、短大1人、国公立大学9人、私立大学16人の合計35人(昨年度45人)の申請がありました。

4月20日、仙北市育英奨学資金運営審議会(市内小中学校長・高等学校長、学識経験者、地域センター所長等8人)を開催し、学校長の推薦内容や学業成績、所得状況を参考に選考した結果、26人が平成30年度奨学生として教育委員会に答申され、4月26日の教育委員会定例会において答申通り決定されました。

また、平成29年度「仙北市育英奨学資金償還金免除」について報告しました。申請された51人全員の免除を決定したものです。

◇平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰について

4月17日文部科学省において、西明寺小学校が平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫育成功労学校賞を受賞しました。

これは、西明寺小学校のこれまでのドローンを用いたプログラミング学習の全校体制での取り組みや、齋藤憲三賞研究助成校として3年連続奨励賞受賞、秋田県情報産業協会主催「第23回秋田県ソフト大賞」における優秀賞等の受賞など数々の輝かしい実績が評価されたものです。

◇仙北市学校適正配置について

「仙北市学校適正配置推進計画」の基本方針のもと、中川小学校、桜木内中学校を学校適正配置検討対象校とし、対象地域における第

1 回意見交換会を6月から7月にかけて開催します。

仙北市の未来を担う子どもたちのよりよい教育環境の構築等の観点から保護者や地域住民の方々との議論を重ね、適正配置に関する理解を図るよう努めて参ります。

【公民館】

◇田沢湖公民館の全国優良公民館表彰について

3月8日、文部科学省で開催された第70回全国優良公民館表彰式において、田沢湖公民館が優良公民館として表彰されました。

文部科学省では毎年全国の公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められる公民館を優良公民館として表彰しております。

田沢湖公民館は、これまでの自主学習活動支援や伝統芸能の後継者育成など、地域の学習ニーズに応じた多様な事業展開が認められたことから、今回の表彰となりました。この表彰を糧に、生きがいに満ちあふれた活気ある地域づくりを目指し、より一層の努力を重ねて参ります。

◇田沢湖公民館まつりについて

3月14日、15日の両日「第6回田沢湖公民館まつり」が田沢湖総合開発センターを会場に開催されました。

これは、田沢湖公民館を通じて活動している個人やサークル等の一年間の学習成果を発表し、活気ある地域づくりを目指して開催されているものです。

作品展は2日間で14団体から、300点以上の作品が展示されました。また2日目の午後からはステージ発表が行われ、「コール若葉」の合唱や「太極拳」、座って出来る健康体操の「スマート体操」、認知症カフェの活動をアコースティックギターと共に紹介する発表や、田沢湖歴史再発見塾の活動発表など多彩な活動が紹介さ

れ、約100人の来場者に楽しんでいただきました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇「新潮社の装幀展」(そうていてん)について

4月8日から7月8日まで新潮社記念文学館において、佐藤義亮(さとうぎりょう)生誕140年記念企画展「新潮社の装幀展」を開催しています。角館町出身の佐藤義亮は、大正時代より故郷へ自社出版物の寄贈を始め、それは現在も続いています。

記念企画展では、本を手にするときの最初の入り口である装幀をテーマに、創業期から現在まで刊行された本の中から、当館所蔵品約50点を展示しています。竹下夢二の木版画による装幀本や豪華折本、新潮社社屋がある神楽坂地域で結成された「神楽坂ブック倶楽部」と株式会社DMM.comラボ(ディエムエムドットコムラボ)との異業種連携により出版された「文豪とアルケミスト文学全集」他、どれも興味深くご観覧いただけるものと思います。

5月6日現在1,050人の方にご入館いただきました。今後も多くの皆様にご入館いただきたいと思います。

【スポーツ振興課】

◇平昌(ピョンチャン)冬季パラリンピックへの出場について

3月9日に開幕した平昌冬季パラリンピックのノルディックスキー距離とバイアスロン競技に、仙北市出身で盛岡視覚支援学校教員の高村和人さんが、日本代表選手として4種目に出場しました。

ノルディックスキー距離では、スプリントクラシカル1.5キロで予選敗退、10キロクラシカルで11位、バイアスロン競技では、7.5キロで15位、15キロでは13位の成績を残しました。

高村さんは、「最初は環境の変化による緊張、ぬかるんだコースに苦労した」と振り返りながらも家族や皆さんからの応援が力に

なつたと話されています。

4月26日に田沢湖庁舎で行われた報告会でも、「やれるだけのことは全部出し切れた。障がいのある人にも、健常者にも前に踏み出す勇気を持ってほしいと言うメッセージを伝えることができた。」と力強く語ってくださいました。

これからも市をあげて高村さんを応援していきたいと思ひます。

◇チャレンジデー2018について

5月30日、「スポーツで明るく元気な仙北市に」をスローガンに、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2018」が開催されます。

今年の対戦相手は、北海道幕別町に決定しました。幕別町は帯広市に隣接した豊かな自然に恵まれた町で、平昌冬季オリンピックのスケート競技で金メダルを獲得した、高木菜那、美帆姉妹の出身地として知られております。

仙北市は8回目の参加となりますが、去年は参加率55.7%で、目標としていた金メダルを初めて獲得することができました。今年も各団体のご協力を得てメイン競技のグラウンドゴルフをはじめ、各地で健康づくりや生涯スポーツのきっかけづくりとなるメニューを多数提供していただくこととしておりますので、たくさんの市民の皆さんのご参加を期待したいと思ひます。

【文化財課】

◇桜の状況及び武家屋敷公開事業について

今年の桜の開花状況については、今年是全国的に開花が早くなっていましたが、角館では4月に入ってから気温の低い日が続いたことから、武家屋敷通りのシダレザクラ、桧内木川堤のソメイヨシノとも4月22日に開花しました。

また、武家屋敷の公開事業については、4月11日から重要伝統的建造物群保存地区の「岩橋家」「河原田家」「小田野家」と同地区外の「松本家」の公開を始めております。

なお、河原田家については、年次計画で修復工事を行うことになっており、今年度は主に主屋の修理工事を行います。工事期間中は安全対策のため公開を制限いたしますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【平福記念美術館】

◇開館30年記念「版画で魅せる花・人・秋田 池田修三作品展」について

平福記念美術館は今年で開館30年になりました。その記念すべき年度初めの企画展として、秋田県にかほ市出身の木版画家、池田修三氏の作品展を4月17日から5月31日まで開催しています。

池田修三作品を多数所蔵する、にかほ市象潟郷土資料館から多大なるご協力をいただき約2,700点の収蔵作品の中から、厳選した約150点の版画作品をお借りすることができました。

また池田氏の版画が仕上がっていく過程を知ることができる貴重な資料も展示しています。

角館の桜まつり期間中の開催となり、5月6日現在3,402人の方にご入館いただきました。今後も市民を始め、観光客にも多く来館していただけるよう広く周知に努めて参ります。

以上、教育行政に関する報告を申し上げまして、教育行政報告といたします。